



新年ごあいさつ

加古川市長

岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を、ご健勝にてお迎えのことと心からお慶び申しあげます。

加古川商工会議所会員の皆様には、平素より加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、昨年、本市は市制75周年を迎えるました。市民の皆様がふるさとへの愛着と誇りを深めていただける機会となるよう、様々な事業に取り組んでまいりました。また、社会経済情勢に目を向けてみると、エネルギーや物価の高騰は収まる様子はなく、今もなお事業者の皆様の経営環境や市民の皆様の生活に多大な影響を及ぼしています。その一方で、市内の各地域では、地域の皆様が中心となって様々な催しが行われ、こどもたちの笑顔はもちろんのこと、本当に多くの方々の笑顔に出逢うことができ、私自身も元気をいただき、まちづくりへの思いを新たにすることができました。

本市では、昨年8月に「加古川駅周辺再整備基本方針」を策定・公表し、JR加古川駅周辺の滞在空間を創出する社会実験の実施や、駅前での過ごし方、空間利用について市民の皆様と考えるシンポジウムやワークショップの開催など、将来の駅周辺再整備に向けた様々な取組を進めています。

また、一昨年から解体工事を進めていた旧公設地方卸売市場跡地については、新たな産業用地を創出するため、まもなく売却に関する募集要項を公表し、跡地活用事業者の公募を開始することとしています。こうした駅周辺の再整備と産業用地の創出など、まちづくりの核となる取組を一体的に進めることで、より一層の相乗効果がもたらされ、新たな活力が生まれるものと確信しています。

厳しい社会経済情勢が続きますが、今後も事業者の皆様が未来を見据えた取組に挑戦していただけるよう、引き続き皆様とともに歩み、様々な支援や経済活性化に資する施策を進めてまいります。本市が目指す「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、市内事業者の皆様のご協力が不可欠です。事業者の皆様の地域への熱い思いが加古川市の未来を形作る原動力となることを期待しています。

本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携を図りながら、商工業の振興に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

結びになりますが、皆様の益々のご活躍と本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。